

教友

第 96 号

目 次

卒業生会員への親睦支援と 学生・院生会員への支援 （大学・教育学部との協力を通して）	大澤 利彦	1
教育学部の現況	有川 秀之	2
教職支援委員会から		3
模擬個人面接を通して・模擬個人面接を受けて		4

教採合格者から後輩へのアドバイス	5
キャンパスライフ サークル紹介	7
体操競技部・体育会男子バレーボール部	
邦楽部琴吹会・放送研究会	
キャンパスライフ ゼミ紹介	9
自然科学専修算数・数学分野 二宮裕之研究室	
特別支援教育コース 三橋翔太研究室	
同窓生の広場	10

卒業五X周年同窓会報告	16
卒業五X周年同窓会開催等案内	22
令和七年度教友会事業報告	23
令和七年度定期総会報告	24
埼玉大学ホームカミングデー二〇二五	25
令和七年度教友会役員名簿・学年理事名簿	26
事務局より・編集後記	28



卒業生会員への親睦支援と 学生・院生会員への支援 （大学・教育学部との協力を通して）

会 長 大 澤 利 彦

ご挨拶と御礼

今年度の諸事業が無事終了できますこと、会員の皆様のご理解・ご協力の賜と感謝申し上げます。私、今年度会長に選出していただきました大澤利彦と申します。

松澤勇治前会長まで、歴代会長の皆様が本会の充実・発展のために大変ご尽力されました。私も社会の動向（埼玉大学の授業料値上げや教育学部の入学定員削減を含む）等も踏まえ、精一杯努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

主に卒業生会員の皆様へ

事業の一例として、卒業五X周年同窓会も、学年理事をはじめとする幹事の皆様のご尽力により、六学年で開催されました。

私も教友会役員として「卒業五十年同窓会」に参加し、同窓生の皆様が、実に楽しく親睦を深めてくださっていることを、会場で強く感じる事ができました。会則の目的にもありますように、今後「会員相互の親睦を厚く」していただく機会になるよう、教友会としても支援を続けていきたいと存じます。

主に学生・院生会員の皆様へ

皆様には、教育に関する情報が溢れる中、入学時の教員志望が揺らぐことがあるかもしれません。私自身の教職生活を振り返ってみて、この職に就けて良かったと今でも思っています。子供たちの成長に関わり、その成長を身近で感じることが出来ます。同窓会等

の機会に卒業後の成長を実感することもできるのです。そんな教職の魅力を一人でも多くの皆様に感じてほしいと願っています。

会則の目的には「併せて教育の振興を図る」ともあります。その一環として、今後も、大学・教育学部と協力し、「模擬個人面接」や教員採用試験対策DVD活用促進等を通して、学生・院生の皆様の支援に努めてまいります。

記念庭園（教育学部C棟の前庭）

「大学・教育学部との協力」手元に『教員養成百年・教友会結成二十五周年 記念事業実施報告書 昭和五十四年（一九七九年）五月十九日 埼玉大学教友会』があります。教友会から埼玉大学に庭園（秩父の赤色角岩を含む）が寄贈された時の報告書です。印象に残った内容のほんの一部ですが紹介いたします。
・百年の歩みを未来に託す
・六三一〇名の醸出者のご協力
・庭園の設計等から工事の監督に至るまで、ご尽力いただいた教

育学部の先生方のお骨折リ
・日本ではじめてのスーパー・エリプス形庭園が後輩学生諸君のために実現 等
大学・教育学部と教友会が協力し「学友ここに集い ここに憩いここに思索す」（碑文の一部）を願ひ、「母校の発展を祈つて」（碑陰の記の一部）建設された、関係の皆様の熱い思いと共に、優れた教員養成への大きな期待を感じずにはいられません。（報告書は清水章夫先生からいただきました。）

本会顧問、元会長の清水章夫先生が、令和七年六月二十一日にご逝去されました。（令和七年度教友会総会開催日でした。）
平成二十四年度まで会長として

会の充実・発展のためにご尽力され、顧問としても、毎年本部常任委員会・定期総会にご臨席の上、教友会の一層の充実・発展に向けてのお言葉をくださいました。
ご冥福を心よりお祈り申し上げます。
（昭和五十二年卒）